

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko 国際文化研究専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』

イタリア 復活祭で交通量増える。在宅呼びかけ 感染甚大な北部

この号の内容

- 1 イタリア 復活祭で交通量増える。在宅呼びかけ 感染甚大な北部
- 2 EU 支部だより
-バルコニー コンサート-

- ・ロンバルディア州
- ・主要道路で検問
- ・罰金 11 万人以上

(CNN) イタリアで新型コロナウイルスの被害の中心地ともなっている北部ロンバルディア州当局は12日のイースター(復活祭)を迎え、車両などの移動が増えているとして警戒し、住民に外出せず在宅に努めるよう呼びかけている。同州の行政幹部は住民らの居場所や一部の自治体が得た休日の行楽先への交通量などのデータを通じた住民の動向を分析した結果、外出が増えていると説明。住民らが別荘へ向かっていることなどを意味するとした。「今回のイースターは自宅で過ごすべき」とも強調。同州では住民の位置情報を携帯電話により把握している。同国のルシアーナ・ラモルジェーゼ内相は声明で「愛する人たちなどのため復活祭であっても全員が自宅にしよう。イタリアを可能な限り早く再起動させるために」と訴えた。同国内務省は地方の警察に対し復活祭の週末の到来を受け住民の動向を探る巡回を強化するよう指示。都市内外の主要道路で検問も実施されているとした。また、地方自治体は各自自治体内や異なる場所への移動に関する制限措置を守るべき有益な方途を推進しなければならないと強調。常時住む自宅以外の家屋や休日用の別荘などへの訪問禁止にも言及している。ラモルジェーゼ内相によると、自宅待機などの指示に従わなかったとして罰金を科されたのは11万人以上に達した。2020.04.12 Sun posted at 17:13 JST

EU 支部だより —バルコニー コンサート—

イタリアは、移動制限が当初の4月3日から5月3日まで延長された。これは時限法で罰則を伴う。例えば、マスクをしていなかったために239ユーロ(約2万8000円)の罰金が科せられる。また外出申請書の虚偽記載では最大3000ユーロ(約35万2500円)と、厳しいものだ。

外出禁止中でもスーパーの食品売り場や薬局、郵便局などの公共サービスは開いている。外出は1家族1人で車1台。スーパーでは、カート1台分のみのお買い物が可能だ。レジでは、カートをはさんで並ぶ。人・カート・人・カートの順だ。うろうろ散歩などももちろんできない。たちまち職務質問される。しかし、散歩ができるケースがある。それが犬だ。犬を連れて散歩に出られるのは人間1人だけ。家族それぞれが散歩に連れ出し、犬は連日大忙しでお疲れ気味。との笑い話もでるほどだ。猫はといえば喜んでいようだ。いつもいない飼い主が一日中家にいて、至福の膝ソファが満喫し放題だからだ。イノシシやカモシカ等の野生の動物にも変化が起こっている。車や人など交通量が激減したため静かになった道を伝って市街地までやってきたり、作物を荒らしたりするようになった。外出禁止の影響は動物界全体にも及んでいるのだ。

一方、外出禁止で隔離生活の閉そく感からくるストレスや精神安定に役立つと考えたのだろう、最近、子供用の文具コーナーと生花店(デリバリーのみ)に営業許可が下りた。人々は、ストレスの発散と精神安定のため、自分たちなりの行動に出ている。その一つが「バルコニー コンサート」だ。地域の芸達者が、バルコニーの窓を開けて歌声を披露したり、楽器を奏でたりする。それに合わせて、地域のみんなども歌ったり、拍手をしたりするのだ。人影のない住宅街に歌声だけが響きわたる。1つの声が2つになり、3つ、4つと増えていく。顔を見ずとも生存を確かめ合っているような、励ましあっているような、そんなすばらしい光景だ。特に独居の高齢者には大きな支えになっているようだ。私は胸が詰り、涙が出そうになった。

一方、現地紙に「コロナ後の変化」という記事が掲載された。要約すると…。

《家庭・マスク、手袋が、新しい必須アイテムとなり入り口で靴を脱ぐ生活になる。仕事、商業活動・行政、民間ともにテレワークが基本となり、中小の小売店はカタログ販売の配送センターに変わるだろう。教育・大学においては教室で授業を受けられる生徒の数を制限し自宅でのオンラインでできるよう準備がすすむ》

《公共交通・乗客の数を制限するようになるため改札やホーム、停留所でのコントロールに慣れなければならない。一度の運行ごとに車両内を清掃、除菌する》

《レストラン・各テーブルの間が2メートルおきとなり、店内に入れる客数が制限やウェーターたちは手袋、マスクの着用が義務になる。デリバリーの形態も増える。映画館、劇場・座席の振り分け、予約要、入場時の人数制限も標準化される》 がんばれイタリア、がんばれ日本。松原



- ・声だけが響く
- ・生存確認 励まし
- ・独居高齢者の支え

